

あのときの常呂・写真館

VOL 137

(1980年)

昭和55年11月10日

常呂霊園・聖観音像開眼式

▶常呂霊園の広場に聖観音像があります。この観音像は、故：榎本誠・国夫妻が寄贈したもので、「広報ところ」12月号の「まちの話題」では下記のように伝えています。

— 広 報 と こ ろ —

霊園に聖観音像

榎本さん夫妻が寄贈

先住民族の霊よ安らかに——と、このほど霊園に聖観音像が建立されました。

を行いました。

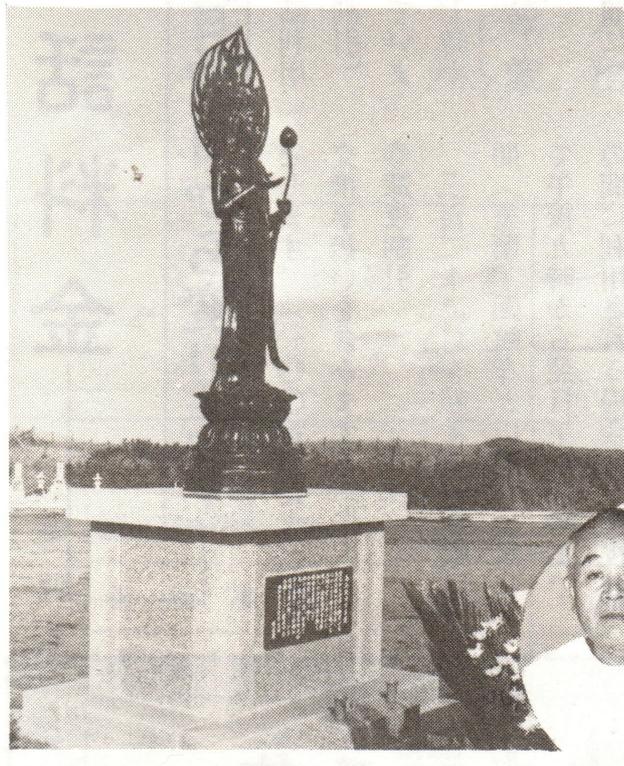
この聖観音像は、大通西の榎本誠さん夫妻から寄贈されたもので、

町では、榎本さん夫妻のご厚意に報いるため、毎年慰霊祭を行うことにしています。

ブロンズ製の高さ二メートル、大理石の台座を含めると四メートルになる立派なもの。

「常呂町の開発に献身した先住民族の霊を慰めるとともに、五年前、交通事故を起こし生死の境をさま迷ったときにお世話になった多くの人たちへの恩返しに」という、榎本さん夫妻の心を込めた聖観音像。

十日の開眼式には、上杉町長をはじめ二十人が集まり、読経の流れる中で献火





* 聖観音像の開眼式のようなす * 南東に向かって立っています





*現在の聖観音像 *下は台座の碑文

